

【ご参考】 2024年3月期 第2四半期決算短信 補足資料

1. 当期連結業績の概要

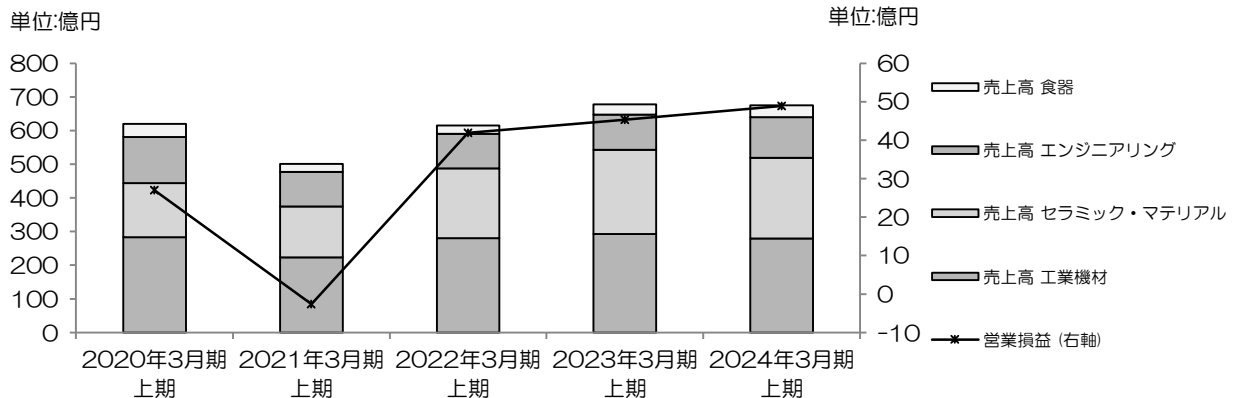
【業績】	
売上高 676億円（前年同期比 2億円減収）	
US\$ 7.31円の円安、EUR 15.67円の円安、THB 0.29円の円安 により、売上高8.0億円増加	
営業利益 48.9億円（前年同期比 4億円増益） 経常利益 69.6億円（前年同期比 4億円増益）	
親会社株主に帰属する四半期純利益 58億円（前年同期比 6億円増益）	
【連結の範囲】	
連結会社 22社（増減なし） 持分法適用会社 4社（増減なし）	
【特別損益】	
特別利益 10.2億円：投資有価証券売却益 10.0億円、固定資産売却益 0.2億円	
特別損失 4.4億円：固定資産処分損 4.3億円等	
【中間配当金】	
中間配当 120円/株（前期中間90円/株） 期末配当 120円/株 予定（前期期末115円/株）	

(1) 業績推移

（単位：億円 四捨五入）

		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	対前年同期比
		3月期	3月期	3月期	3月期	3月期	
		上期実績	上期実績	上期実績	上期実績	上期実績	
売上高	工業機材	283	223	280	293	279	△ 14
	セラミック・マテリアル	161	151	208	250	240	△ 9
	エンジニアリング	137	103	102	104	121	18
	食器	39	24	25	31	35	4
		619	502	615	678	676	△ 2
営業利益	工業機材	2.3	△ 15.9	12.5	14.8	9.6	△ 5.2
	セラミック・マテリアル	12.7	10.1	28.8	28.0	32.3	4.3
	エンジニアリング	15.7	9.7	7.8	5.6	7.5	1.8
	食器	△ 3.8	△ 6.5	△ 7.2	△ 3.1	△ 0.4	2.6
		26.9	△ 2.6	41.9	45.3	48.9	3.6
(売上高営業利益率)		(4.3%)	(△0.5%)	(6.8%)	(6.7%)	(7.2%)	-
経常利益		37.2	6.6	56.9	65.8	69.6	3.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益		28.1	△ 0.2	42.1	51.8	57.9	6.2
1株当たり四半期純利益		195.56円	△ 1.44円	291.4円	358.61円	400.55円	-
1株当たり純資産		7,245.02円	7,083.18円	7,882.09円	8,652.56円	9,379.82円	-
US\$ 為替レート		110.0円	108.2円	108.5円	135.3円	142.6円	-

売上高及び営業損益の推移（2020年3月期上期-2024年3月期上期）



(2) 設備投資及び減価償却費

(単位：億円 四捨五入)

	2023年3月期 上期		2024年3月期 上期	
	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
工業機材	16	10	12	10
セラミック・マテリアル	6	8	7	8
エンジニアリング	1	1	1	1
食器	1	1	1	1
管理部門	1	4	5	3
合計	25	24	27	24

(3) 有利子負債

(単位：億円 四捨五入)

	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月	2023年9月	対前期比
有利子負債※	51	79	65	125	65	△ 60
現金及び預金	126	123	142	146	159	13
ネット有利子負債	△ 75	△ 44	△ 77	△ 22	△ 95	△ 73

※ 有利子負債には、リース債務は含めておりません。

2. 2024年3月期の予想

(1) 重点施策

【工業機材】

- ・前期に事業をオーダーメイド品と汎用品に再編。効率的な事業体制を構築します。
- ・オーダーメイド品事業では、成長領域向け製品の増産体制の確立、販売拠点の整備等により、収益基盤を強化します。また、半導体、自動車の電動化等の成長領域における新技術・新商品の開発を進めます。当第2四半期は、パワー半導体ウェハー工具の量産化と注射針用砥石の生産能力の増強を開始しました。
- ・汎用品事業では、前期に連結子会社2社を合併し一本化した事業体制のもと、経営基盤の効率化と製造販売体制の再編を行い、収益力を強化します。また、エレクトロニクス向け製品の増産体制と、成長領域への進出に向けた製造・開発・営業体制を構築し、経営資源の集中を図ります。

【セラミック・マテリアル】

- ・電子ペーストは、エレクトロニクス分野において、製品ラインナップの拡張と新商品の開発を進めます。
- ・電子部品材料は、積層セラミックコンデンサ用材料の生産能力の増強を引き続き行うとともに、成長領域における新商品の開発を進め、事業の拡大を図ります。
- ・事業の選択と集中、新商品・新事業の創出により、事業ポートフォリオの再構築を図ります。

【エンジニアリング】

- ・エネルギー、エレクトロニクス分野では、拡販とアフターサービス体制の強化、新商品の投入によりシェアの拡大を図ります。当第2四半期は、リチウムイオン電池用連続焼成炉の組立工場の増設に着手しました。また、自動車分野では、電動化に伴う新用途・新商品の開発を進めます。
- ・新しい分野（医療・医薬、半導体、新素材）への参入と市場の開拓、環境分野での新用途・新商品の開発を強化します。当第2四半期は、テストセンターの拡充に着手しました。
- ・2023年4月1日付で超硬丸鋸切断機に係る事業を連結子会社へ承継。インフラ市場での拡販を図ります。

【食器】

- ・国内は、オンライン販売の強化とホテル・レストラン向けの拡販を進めるとともに、流通販路・物流の再整備による経費削減を図ります。
- ・海外は、成長市場であるインド、中国、東南アジア等主要国への拡販と米国の収支改善に取り組みます。

【設備投資金額】

設備投資 80億円 減価償却費 50億円

(2) 業績予想

(単位：億円 四捨五入)

	2023年 3月期	2024年3月期 業績予想				
		通期実績	上期実績	下期予想	通期予想	通期増減
売上高	工業機材	575	279	286	565	△ 10
	セラミック・マテリアル	492	240	225	465	△ 27
	エンジニアリング	259	121	169	290	31
	食器	69	35	35	70	1
	合計	1,395	676	714	1,390	△ 5
営業利益	工業機材	23.5	10	12	22	△ 2
	セラミック・マテリアル	48.4	32	26	58	10
	エンジニアリング	20.5	7	14	21	1
	食器	△ 2.8	△ 0	△ 1	△ 1	2
	合計	89.7	49	51	100	10
経常利益	124.1	70	65	135	11	
親会社株主に帰属する当期純利益	100.2	58	52	110	10	

(下期想定為替レート US\$=135円)